

全社対応の姿勢が大事 NPO法人虹色ダイバーシティ代表 村木真紀氏 差別禁止の法整備すべき

2016/4/3 3:30 | 日本経済新聞 朝刊

——LGBTが働きやすい職場づくりを目指し、講演活動などに取り組んでいます。日本企業の対応に変化は出ていますか。

「以前はこの問題に力を入れるのは一部の外資系企業くらいだったが、最近は伝統的な日本企業もLGBTの問題に関心を持つようになった。女性の活用などに力を入れる企業が、ダイバーシティ(多様性)施策の一環として取り組むケースも多いようだ。福利厚生で同性パートナーを配偶者と同等に扱ったり、採用時のエントリーシートで性別記載欄をなくしたりするなど、様々な動きが出ている」



——関心が高まっている背景に何があるのでしょうか。

「昨年、東京都渋谷区や世田谷区などで同性カップルへの証明書を発行する動きがあり、LGBTに大きな注目が集まったが、それより前から少しずつ機運は出ていた」

「1つは世代的な背景だ。かつてはLGBTであることを隠して偽装結婚をする人も多かったが、1990年代以降、家族や友人にはLGBTであることを隠さずに生きる人も増えてきた。こうした世代が今では40代となって職場の中で発言しやすくなり、LGBT対応の施策を求める声が人事部門に届くようになった。日本企業は他社の動向を非常に気にする。LGBT施策に取り組む企業が増えたことで一種の『同調圧力』が働いている面もあるだろう」

——海外のLGBT権利保護の動きも見すごせません。

「2013年以降に英仏や米国など、日本にもなじみの深い国々で同性婚を合法化する動きが広がった。日本の法律で同性婚は認められていないが、外国籍パートナーがいる人の国際結婚が増えている。このため彼らが勤務する日本企業でも制度的な対応が必要になってきた」

「最近では五輪憲章が改定されたことも影響しているだろう。14年のソチ五輪の際、開催国ロシアで同性愛宣伝規制法が出されたことでボイコットの動きが広がり、五輪憲章に性的指向への差別を禁じる規定が盛り込まれた。このため五輪のスポンサーになる企業は対応が求められる。20年の東京五輪に向けて、今後ますます企業の動きが盛り上がってくると期待している」

——LGBT施策に取り組むことは、企業にどのようなメリットがあるのですか。

「優秀な人材の確保や、従業員の離職を防ぐ効果が見込める。LGBTは勤務先がLGBT施策に取り組んでいるか重視する人も多い。外資系企業などではきちんと取り組まなければ他社に引き抜かれてしまう。LGBTが生き生きと働ける職場になれば、生産性の向上も期待できる」

「最近では同性カップル向けの結婚式や保険商品など、LGBT層がマーケットとしても意識されるようになった。販売している商品がLGBTに差別的なら当然、非難を浴びるだろう。またLGBTを意識した商品を発売していても、社内でLGBTの従業員への配慮に欠けていれば、やはり二枚舌だと非難されかねない。企業は全方位での真摯な対応が必要になっている」

——企業はどう対応していくべきなのでしょう。

「LGBTには職場でカミングアウトしていない人も多いので、施策の対象が見えにくい。この点が女性や外国人への対応など、ほかのダイバーシティ施策と比べても難しい点だ。LGBT施策をしないことによって何人の社員が黙って退職しているのか、何人が仕事のモチベーションを落としているのか、なかなか数字では見えてこない」

「それでも人事部がLGBT施策をやるぞというメッセージを出せば次第に相談も寄せられるようになる。まずは社内でLGBTへの理解者となってくれる『アライ(味方)』と呼ばれる人たちを増やし、徐々に対話を深めていくやり方が日本企業には取り組みやすいのではないか」

——最近では政界でもLGBTを支援する法整備を目指す動きが目立ってきました。

「LGBTを差別する発言をした地方議員などが社会的に批判を浴びるケースが相次いでいるが、おそらく以前なら注目を集めるようなこともなかった。そのような感覚では通じなくなっているということ、ようやく政治家も気づき始めたのではないか。日本はLGBTの法的な権利保護が欧米諸国と比べて遅れている。LGBTへの理解促進と差別禁止が法律で明確に規定されることを期待している」

(聞き手は本田幸久)

むらき・まき 12年に虹色ダイバーシティを立ち上げ、レズビアン立場からLGBTの職場環境整備などに取り組む。41歳。

NIKKEI Copyright © 2016 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。